

単 独

設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・業務数量総括表)

2025 年度施行

つくしヶ丘西9号線現況測量委託

網走市

特 記 仕 様 書

特記仕様書

- 20 一般事項
 - 01 適用
 - 01 共通仕様書

当該業務は、『北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書』（以下「共通仕様書」という。）に基づき履行すること。
- 06 概数
 - 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項（レベル4）の履行に当たっては、業務計画書等提出時に業務担当員と協議し、数量の確認ができない場合を除き、数量を確定し業務着手すること。
 - 2 履行前に数量を確定した後、設計変更する。
 - 3 測量業務
 - （1）細部調査のうち試掘調査は、現地調査を行った結果を基に業務担当員と協議して業務数量を確定する。
- 02 個別事項
 - 01 目的
 - 1 設計業務

当該業務は、つくしヶ丘西9号線の詳細設計に必要な現況測量を実施する業務である。
- 02 土木工事数量算出要領

当該業務において、数量の算出を行う場合は次によること。また、これに定めのない事項については、業務担当員と協議すること。

 - 1 一般土木工事

「土木工事数量算出要領」
 - 2 漁港工事

「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - 3 下水道工事

「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
- 03 CALS/EC

特記仕様書

1 電子納品

- (1) 当該工事は電子納品対象とする。電子納品にあたっては、網走市電子納品の手引き（案）【委託編】（以下、「手引き【委託編】」という）に基づき、工事監督員と協議の上、電子化の範囲を決定しなければならない。これにより難しい場合には、協議の上、従来納品とする。
- (2) 成果品は、手引き【委託編】に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R又はDVD-R）で1部提出する。なお、手引き【委託編】の解釈に疑義がある場合は、担当員と協議の上、電子化の是非を決定するものとする。
- (3) 工事完成図書の提出にあたっては、電子成果品事前チェックシート等による確認や目視による確認を行い、ウイルス対策を実施した上で提出するものです。

03 業務打合せ

01 測量業務

当該業務の打合せは、次のとおり予定している。

第1回打合せ、中間打合せ3回、成果納品1回の合計5回とし、いずれも網走市役所(網走市南5条東1丁目10番地)で行うことを予定している。

なお、打合せ回数に変更が生じた場合には、委託者と受託者との協議により設計変更する。

04 提出成果品

01 測量業務（電子媒体）

提出成果品は、次のとおりとする。

電子成果品保管帳 ： 1冊（電子媒体（CD-R等））

測量成果計算簿

土地調査票表

地図及び資料図

転写連続図

観測手簿

計算簿

成果表

線形図

引照点図

点の記

特記仕様書

精度管理表
線形地形図
平板原図
丈量図
縦断面図
横断面図
細部調査図(構造物)
土質調査・既設路盤材調査：適宜
写真帳

- 24 建設副産物・廃棄物関係
- 01 副産物・廃棄物の処理条件（契約事務等を代理させる場合）
- 01 アスファルト塊の処理（業務箇所が●●●●市内）

当該業務の施工により発生する（試掘調査）アスファルト塊の処理については、次のとおりとするが、受託者において適正な処理施設を選定し、業務処理計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。

- 1 処分場所：(株)早水組 呼入570-11（受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定）
- 2 運搬距離：片道運搬距離11.0km以下

- 02 北海道循環資源利用促進税(以下「循環税」という。)について
 - 1 当該業務で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入する場合で、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入された場合においても、循環税が課税されるので適正に支払うこと。
 - 2 当該業務では循環税相当額を見込んでいる。